

令和6年9月11日（水） 午後2時45分頃～@佐渡市議会

◎佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて
【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案

- (1) 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を好機とした観光振興について
 - ① 世界文化遺産登録された7月27日を記念日とする県条例の制定に向けて
 - ② 持続可能な文化観光地域づくりへとつなげる官民の組織体制
 - ③ 佐渡ブランド確立による1次・2次・3次産業の高付加価値化
 - ④ 3冠から4冠へ、「森は海の恋人」を体現するユネスコエコパーク）へ
- (2) 廃校舎・廃ホテル・廃旅館・空き家利活用の推進について
 - ① 耐震化済の両尾小及び川茂小、10年間で発生する廃校舎10校の利活用策
 - ② 活用可能な廃ホテル・廃旅館の利活用策及び不能施設の解体撤去への道筋
 - ③ 旅館業法による宿泊に加えた民泊新法による民泊・宿坊の推進
 - ④ 佐渡自動車学校の通学及び合宿免許制度による滞在型文化観光の推進
- (3) 拉致問題の早期解決について
 - ① 市民一人ひとりができること
 - ② 「曾我さん母娘（おやこ）を救う会」への参画促進



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_202409

【二次元コード（ごま塩のような正方形）の読み取り方】

- ① スマートフォン・タブレットのカメラか二次元コード読み取り機能を立ち上げる。
- ② 表示されたアドレス（<http://>・・・）等の文字列を触ってみる。

令和6年9月定例会 一般質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 室岡啓史

※【出典】の記載なき画像は全て自身で撮影した写真です。

和歌山県世界遺産センター
Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range

知る 学ぶ 歩く 守る English

世界遺産を守る

Protecting the World Heritage

● 世界遺産を守る・和歌山県世界遺産条例

和歌山県世界遺産条例

⇒世界遺産条例に基づいて活動を継続している。

全国初・世界遺産条例の制定

世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」。人類のかけがえのない宝として引き継いでいかなければなりません。また、その意義を国内外に発信することが、私たち人類の文化や自然環境の重要性を訴えることにもなります。そのため、県では世界遺産条例を平成17年3月に全国で初めて制定し、県や県民の担う役割を明らかにしました。

人々の心を豊かにし世界に比類ない文化遺産を未来につなげるため、県民の皆さんと一緒に積極的に取り組んでいきます。

和歌山県世界遺産条例の概要

基本理念

この世界遺産は人類のかけがえのない多様な価値を有する財産として守られ、適切に活用されつつ、将来の世代に良好な状態で引き継がれていかなければなりません。

県の役割

- 基本的計画を作成
- 積極的な施策の実施
- 国等の関係機関との連携・調整

県民等の役割

自らの世界遺産という思いで、率先した保存と適切な活用に努めます。

来訪者等の役割

ルールを守り、魅力と価値を多くの人々に伝えるよう努めます。

和歌山県世界遺産の日、和歌山県世界遺産週間の制定

- 和歌山県世界遺産の日 7月7日
- 和歌山県世界遺産週間 7月1日～7日

※上記期間は、和歌山県世界遺産センターでも各種催しを行っています。

PDFダウンロード
和歌山県世界遺産条例

世界遺産を守る

- 世界遺産保全活動「道普請ウォーク」募集
- 実施団体一覧
- ウォークレポートブログ
- 10万人の参詣道「環境保全」活動
- 世界遺産マスター
- 保存活用団体連携促進研修事業
- 和歌山県世界遺産条例
- ご寄付いただいた企業・団体等

関連リンク

和歌山県文化遺産課

- 文化財関係法令
- 和歌山県保存管理計画

①世界遺産を守る
道普請ウォーク：雨など崩れ落ちたところを補修する。学校、企業ボランティアを毎年で行っている。年間40～50回程の活動、10年以上実施。

②世界遺産を学ぶ
次世代育成事業：和歌山県内の小中高校生を熊野本宮や高野山に来てもらって、世界遺産マスター（約130名）による講師から世界遺産を守る大切さを伝え、教育・啓発活動を行っている。年間約20校。

和歌山県世界遺産センター
Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range

知る 学ぶ 歩く 守る English

世界遺産保全活動「道普請ウォーク」募集

企業・団体等のCSR活動や研修等の一環として、参詣道の維持・修復活動にボランティアとして参加して頂ける企業等を募集しています。

道普請ウォーク募集

実施団体一覧

ウォークレポートブログ

世界遺産マスター

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と適切な活用を推進するための民間リーダーです。研修・認定試験を経て和歌山県知事から認定され、ボランティアで世界遺産保全啓発活動を行っています。

世界遺産マスター

保存活用団体連携促進研修事業

古道保存活用団体・語り部団体等を対象に、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する3県の親睦と発展、交流のため研修・交流会を実施しています。

保存活用団体連携促進研修事業

和歌山県世界遺産条例

世界遺産の意義を国内外に発信し、人類の文化や自然環境の重要性を訴えるための条例を平成17年3月に全国で初めて制定し、県や県民の担う役割を明らかにしました。

和歌山県世界遺産条例

ご寄付いただいた企業・団体等

これまで、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用のため、和歌山県世界遺産協議会へご寄付いただいた企業・団体等を紹介しています。

ご寄付いただいた企業・団体等

【出典】和歌山県世界遺産センター：和歌山県世界遺産条例 に加筆
<https://www.sekaisan-wakayama.jp/protect/iourei.html>

【出典】和歌山県世界遺産センター：世界遺産保全活動の取組
<https://www.sekaisan-wakayama.jp/protect/>

「新潟育ち・佐渡の孫」である私は、新潟市で約20年、首都圏で約15年居住し、勉学・社会経験を積んできた。11年前に佐渡へと孫ターン移住して、「三度のメシより佐渡が好き!!!」をキャッチフレーズに政治活動を進めた結果、現在は佐渡市議会議員3期目として佐渡市議会副議長及び佐渡市世界遺産登録推進議員連盟会長を務めさせていただいている。これもひとえに、市民の皆さまのご理解、ご協力があったことだと心の底から感謝の気持ちが溢れる毎日過ごしている。世界遺産委員会が7月21日からインドのニューデリーで開かれる。平成8年から28年もの間、先人が努力し続けてきた「佐渡島(さど)の金山」の世界文化遺産登録を必ず実現させたい。そして、佐渡・新潟が日本の「扇の要」として燦然と金のごとく光り輝く、そのことを世界に誇りたいと夢見ている。

「三度のメシより日本(クニ)が好き!!!」という想いを大切に。日本という国は、古来より極めて稀有な日本人としてのアイデンティティ=“らしさ”を生み出し、受け継いできた。武士道精神・侘び寂びの心・八百万神の信仰・母音中心言語などといった独特の日本文化は世界的に見て常に少数派である。現代におけるグローバルゼーションの中で失われつつあるこの精神性=“日本らしさ”を大切にしたい。日本は美しき瑞穂の国。クニ=ムラの集合体であり、弥生時代より脈々と受け継がれた土地や水を守る地域コミュニティの神髄である。

日本(にっぽん)の農山漁村の生業と文化を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、「日本列島集落ツーリズム構想」を提唱する。これは田中角栄先生の「日本列島改造論」をリスペクトして、都市と地方の格差を是正し、高速交通網・情報網を活用し、観光⇒関係人口⇒二地域居住⇒移住定住の流れを都市から地方へ加速させることである。また、地震大国日本の防災減災対策はソフト/ハード両面から整備するべきであり、アウトドア×防災の考え方を普及啓発し、国土強靱化を物心両面から進めなければならない。

●今あるものを最大限に活かし、持続可能な文化観光地域づくりを推進することが必要である。
●有形・無形の文化財を活用した高付加価値なインバウンド観光を推進し、文化を次世代へと継承していく。観光産業から始まる毎年2%程度のインフレを起し、実質賃金も向上させることで経済成長の好循環を起し、成熟経済とすることができると考える。2023年では、日本の一人当たりGDPは約33,000ドルで世界の38位と低迷している状況にある。そこで、2020年5月施行の文化観光推進法に則り、文化・歴史・自然・風土、日本人としての誇り、物心両面の豊かさを世界に誇るのである。本県で例えれば、佐渡島(さど)の金山・大地の芸術祭・糸魚川ユネスコ世界ジオパーク・むらかみ町屋再生プロジェクトなど全県の持つ文化地域資源を点から線へ、線から面へと展開することで「おもてなしの心」が人のご縁でつながっていくイメージである。加えて、食の安全保障の観点からも食料自給率向上及び地産地消の推進が必要と考える。

人口減少対策が喫緊の課題であることは言うまでもない。人口戦略会議によると全国1741自治体のうち約43%にあたる744自治体が消滅可能性自治体に該当する結果となった。明治時代における本県は日本の総人口4,000万人の約5%にあたる180万人という最大の人口を抱えていた。にも拘わらず、今となっては本県の消滅可能性自治体は30市町村のうち、18市町村が該当し6割にも上る。そこで、生涯活躍のまちづくり(CCRC)の推進、健康寿命の延伸策等により、自然減の減り幅を抑え、社会減をプラスマイナスゼロに近づけることが必要と考える。また、合計特殊出生率と希望出生率には全国平均で0.5ポイントのギャップがある。そこで、多子世帯が増えるように大胆な税制優遇等を図る、あるいは消滅可能性自治体に交付税措置を手厚くする、もしくは多子世帯のための補助制度を創設するべきであるとする。また、有人国境離島特別措置法は2027年までの10年間の時限立法であるが、改正が間近に迫っている。本土との格差是正を昇華させ改正後はアドバンテージへとつながる離島創生、地方創生を推進するべきである。教育の無償化、ソサイエティ5.0(超スマート社会)への対応、DX(デジタルトランスフォーメーション)、GX(グリーントランスフォーメーション)などを実証実験するフィールドに離島を優先的に選定する必要があると考える。

地球沸騰化への対応については、地球規模で考え地域で行動することが大切である。エネルギー問題については、「新潟県自然エネルギーの島構想」を推進し、再生可能エネルギーによるDX、GXを進めることで、2050年カーボンニュートラルを実現しなければならない。新潟モデルを成功させ、全国へと横展開することが必要であるとする。また、北海道で半導体製造工場を建設する計画があり、実現すれば純国産のシングルナノチップが国内外で使用できることとなる。加えて、研究が進む光半導体は次世代通信基盤「IOWN(アイオン)」の中核となる技術の一つであり、さらなる小規模化や省エネの推進が可能となる。これら、強いものづくりの推進による技術立国日本の復権により、世界をリードして地球沸騰化を抑制していかなければならないと考える。

最後に、自民党の党是である憲法改正については、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の三原則は変えないまま、教育国債発行による教育の無償化を最重点項目として掲げ、自衛隊の明記、有事に備える緊急事態条項の創設、参議院の合区解消も実現させるべきと考える。また、人権の観点からも、ご家族が高齢化して時間のない状況にある拉致問題の早期解決を必ず実現しなければならない。全国では少なくとも17名の拉致被害者のうち、5名のみの帰国が実現、少なくとも12名が未だ帰国を実現できていない。北朝鮮による不条理な国家犯罪、人権侵害を断じて許すことなどできない。持続可能な17の開発目標SDGsの「16. 平和と公正をすべての人に」を達成するためにも世界平和の実現を日本国として推進するべきであると強く訴える。

【出典】<http://hiroshimurooka.com/20240727memorialday> 以上

◆7月27日(土) 早朝、パリオリンピック常選新浦選区民主党公認候補の面接を受けてから佐渡にとんぼ返りし、午後パブリックビューイングと一緒に喜ぶという生涯忘れられない一日となりました◎

▼『佐渡ヶ島 (SDGs) 集落ツーリズム』 構想

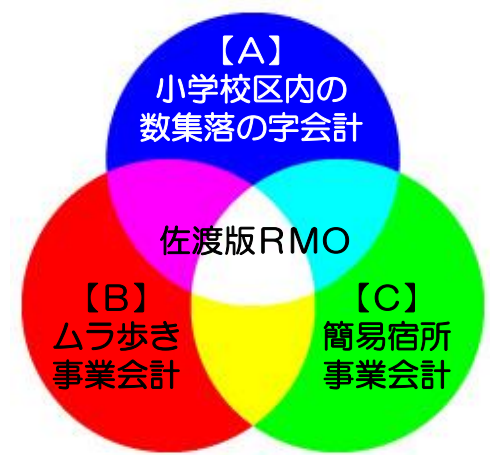
佐渡の農山漁村の生業を大切にし、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とがつながっていく世界観



【出典】 寄れっ茶屋 案内MAP裏面 石井文海作『佐渡州山水図』 に加筆

▼ライドシェア×持続可能な文化観光地域づくり

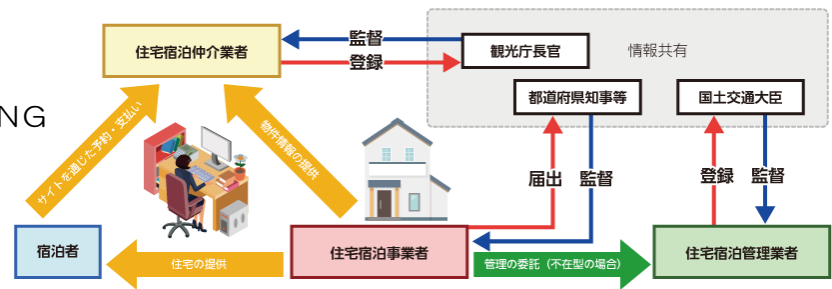
◆島内外の方の双方にとって『小学校区』というコミュニティを大切に
佐渡の集落での活動を永続的に残すことができないかと考えます。
そこで、RMO（地域運営組織）〇〇小学校区応援団（仮称）を結成し、
下記6点に取り組む提案です。※団体は、NPOや一般社団法人等を想定
⇒ライドシェアやコミュニティバスの有償運行×文化観光地域づくりの提案



- ①集落毎の字会計や各種行事案内資料の統一フォーマット化、データ化
- 【A】小学校区内の数集落の字会計（※集落情報は、集落毎で厳重に要管理）
 - 【B】ムラ歩き事業会計（集落の魅力を発掘し、ムラ歩きガイドを行う等）
 - 【C】簡易宿所事業会計（古民家を再生し、宿泊施設に活用する等）

②ムラ歩き事業⇒【B】
佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想実現のため、さどんぼ/あるかんか佐渡/ふれあいガイド等の取組みを
各小学校区でも行う。また、有料の体験コンテンツを複数発掘し、集落の魅力を体験できるようにする。

③簡易宿所事業⇒【C】
空き家利活用、古民家再生、宿泊を伴う滞在型観光を推進する。
※簡易宿所は、食材提供やケータリング（仕出し）はOK、その場で作られたお料理提供はNG
※住宅宿泊事業法（平成29年6月に成立した民泊新法）年間提供日数の上限は180日（泊）



【出典】minpaku民泊制度ポータルサイト

④各地郷土博物館の利活用
郷土博物館機能に加え、RMO事務局の拠点としても活用する。

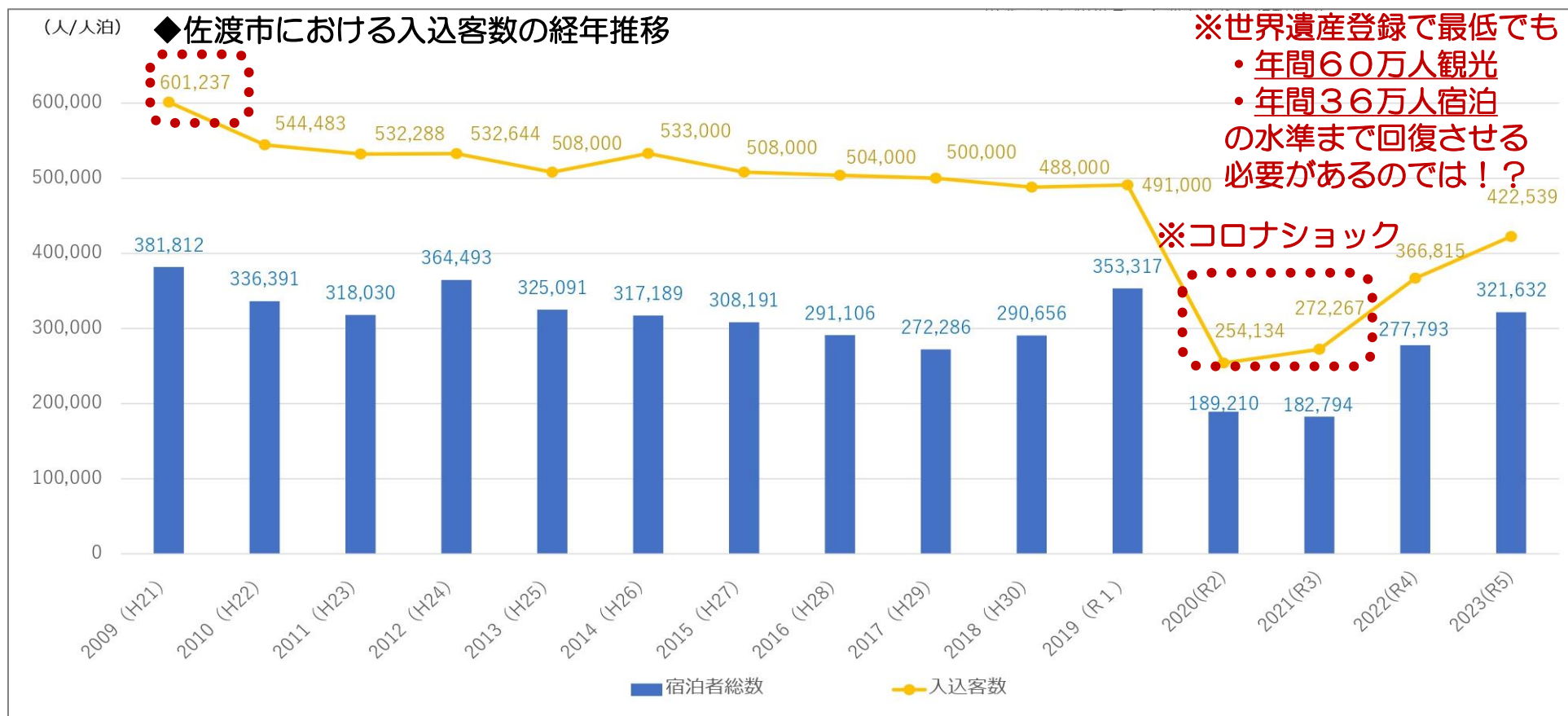
⑤集落産のお土産の開発・製造・販売
島内外の好事例を参考にお土産を開発して、民間企業推進の元で製造・販売する。※販売は、②～④等で行う。

⑥〇〇小学校をコミュニティスクールとして、地域と連携、地域づくりの拠点化や大学・企業の誘致へとつなげる
学校運営協議会制度において、総合学習（学校教育）＆生涯学習（社会教育）に取り組む。

▼世界文化遺産登録を好機とした観光振興を

- ◆春：4/14 佐渡市長・佐渡市議会議員選挙が行われ、佐渡市の最高責任者と市民の代表21名が決定！
- ◆夏：7/27 世界遺産委員会@インドニューデリーにて、「佐渡島（さど）の金山」が世界文化遺産に登録決定！28年に渡る努力が報われ、登録が実現したことは、新潟県では初の快挙！

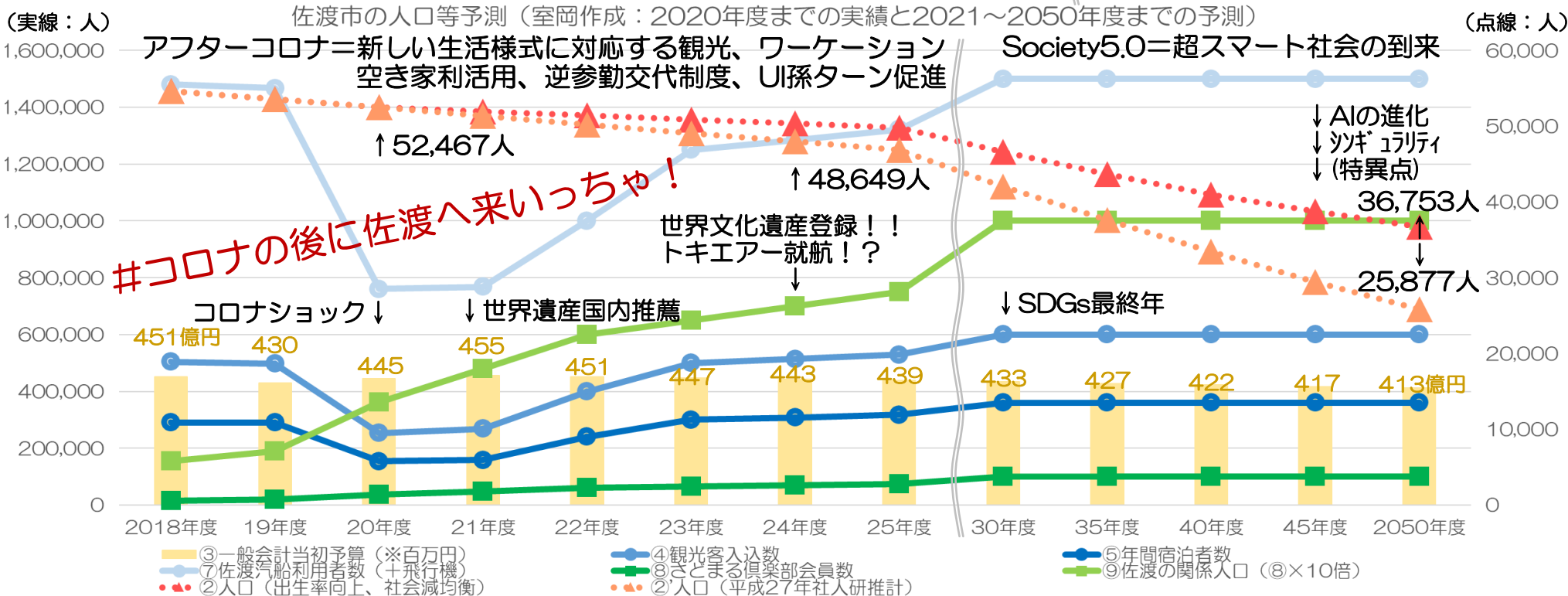
- ◆夏：8/15 小木町が重要伝統的建造物群保存地区に選定。新潟県では宿根木以来、33年ぶり2件目の快挙！
- ◆冬：トキエアの佐渡就航、佐渡⇄新潟、佐渡⇄首都圏便の開設により、国内外からワンクッションで佐渡へとお越しいただくことが可能となり、佐渡空港周辺地域は玄関口としての活性化が大いに期待される！



【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 佐渡観光データ調査分析業務報告書 佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数（泊）
 2024年9月定例会 一般質問資料 三度のメシより佐渡が好き！！ ◎室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼佐渡の未来予測 (室岡作成：2020年度までの実績と21～50年度までの予測)

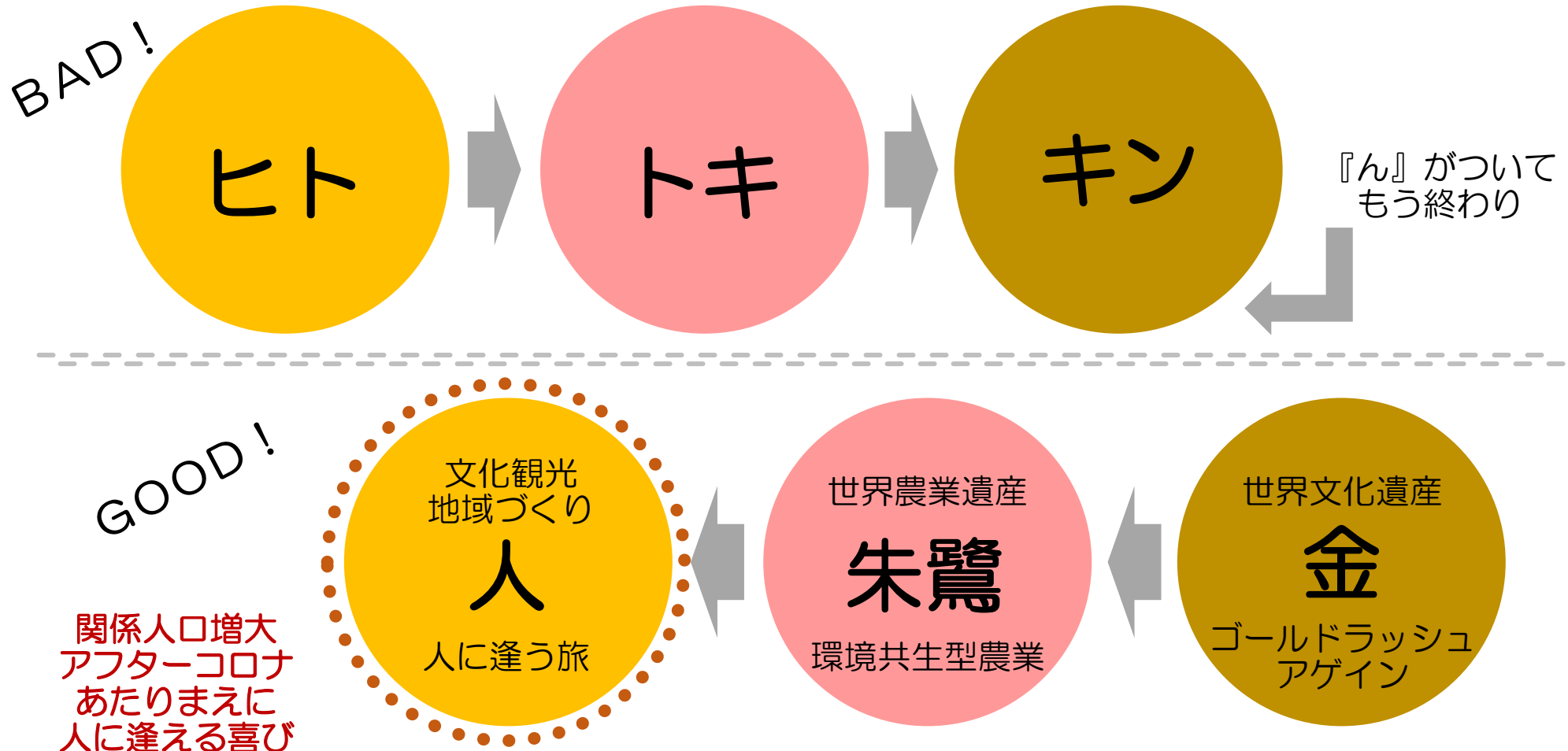
	2018年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	30年度	35年度	40年度	45年度	2050年度
①ご自身の年齢(歳)	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
②人口(出生率向上、社会減均衡)	54,656	53,563	52,467	51,941	51,415	50,888	50,362	49,836	46,576	43,707	41,002	38,746	36,753
②'人口(平成27年社人研推計)	54,656	53,563	52,467	51,348	50,228	49,109	47,989	46,870	42,054	37,630	33,412	29,468	25,877
③一般会計当初予算(※10万円)	451,000	430,000	445,000	455,000	451,000	447,000	443,000	439,000	433,000	427,000	422,000	417,000	413,000
④観光客入込数	504,000	498,000	254,000	269,000	400,000	500,000	514,000	529,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
⑤年間宿泊者数	290,656	290,233	154,353	159,000	240,000	300,000	308,400	317,400	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
⑥うち訪日外国人観光客数	26,000	14,584	1,128	300	10,000	15,000	20,000	25,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
⑦佐渡汽船利用者数(＋飛行機)	1,480,352	1,466,681	760,342	768,000	1,000,000	1,250,000	1,285,000	1,322,500	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
⑧さとまる倶楽部会員数	15,496	19,033	36,106	48,000	60,000	65,000	70,000	75,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
⑨佐渡の関係人口(⑧×10倍)	154,960	190,330	361,060	480,000	600,000	650,000	700,000	750,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000



▼ヒト⇒トキ⇒キン: しりとりでの佐渡らしさの伝え方

◆人に逢う観光 ≡ 観光地域づくり 佐渡の三大地域資源

大正大学地域創生学部の学生の地域実習で、学生と意見交換をする機会を得た。佐渡の地域資源は、色々あるけれど、人やトキや金山ではないか。気付いたことは、しりとりで佐渡らしさを伝えることができる。しかし、ヒト⇒トキ⇒キンと続くと、しりとりは終わってしまう。文化観光地域づくりの中で逆の流れをつくることできれば、リピーターの増加、関係人口の創出、ひいては持続可能な文化観光地域づくりが可能になるのでは。



▼トキ・カキ・ツバキ：佐渡のブランド化

◆日本由来の学名の意味を紐解く

トキ・カキ・ツバキは学名に日本語・日本を意味する言葉が入っている。「日本の縮図」と形容される佐渡ヶ島でこそ、世界遺産となった島としても、トキ・カキ・ツバキのブランド化による佐渡ブランドの確立が必要！

トキ



▼朱鷺

【学名】 *Nipponia nippon*
(ニッポニア・ニッポン)

日本の国鳥ではないものの、しばしば「日本を象徴する鳥」と呼ばれることもある。新潟県の「県の鳥」、佐渡市と輪島市の「市の鳥」である。環境省レッドリストで「野生絶滅」の状態にあった。しかし、日中両国の保護によって、2019年時点の個体数は、中国が2,600羽、日本が600羽、韓国が363羽となっている。

カキ



▼柿

【学名】 *Diospyros kaki*
(ディオスピロス・カキ)

ギリシャ語「Dios（ゼウス）」と「pyros（小麦や果物）」から生まれた言葉で、「神の食べ物」という意味。ビタミンCはミカンの2倍、ポリフェノール（タンニン）はブドウの5倍も含まれる。民俗学者の宮本常一氏が奨励したことにより、佐渡でも栽培が盛んになった。北海道では難しく、本州以南で広く栽培されている。

ツバキ



▼椿

【学名】 *Camellia japonica*
(カメリア・ジャポニカ)

学名がそのまま英語名になっている珍しい例である。照葉樹林の代表的な樹木で花が冬に咲く。庭に植えられるほか、薬用や食用にもなる。種子からとれる椿油は上質で、整髪料や養毛剤に用いるとともに最高級の天ぷら油として珍重される。広葉樹のため、材は強く緻密で、ツゲ材と同様に木具材や細工物に使われる。

▼森は海の恋人:ユネスコエコパーク佐渡への挑戦!

◆全国で10ヶ所認定されているユネスコエコパーク
佐渡でも林業関係者、漁業関係者、地域住民等
行政と共に関係団体の参画、「森は海の恋人」
の世界観を共有する協議会を結成し、
申請に向けて邁進すべきと考えます!

【佐渡のキーワード】
#佐渡 #ブランディング
#森里川海 #里山里海
#森は海の恋人 #天然杉
#生物多样性 #トキ #虫
#海洋生物 #ブリ #牡蠣
#自然エネルギーの島構想



あやちょう
【宮崎県綾町】
照葉樹林文化を
次世代へと継承
する住民参加型
エコパークを実現



【参考リンク】

http://mab.main.jp/br_top/br_2/

<https://ayabrcenter.jp/unescoecopark/ayaunescoecopark/>



”綾ユネスコ エコパーク”のイメージ図



【出典】綾ユネスコエコパーク 自然と共に生き、人と共に生きるまち、綾

▼ 3冠から4冠へ:4つの半島に王冠を戴(いただ)く!

SADO Island supporter

4冠★★★★の島
× 集落ツーリズム

4冠★★★★の島
× SDGsツーリズム



【②近世の遺産】相川鶴子・西三川
👑世界文化遺産「佐渡島の金山」
江戸時代の手工業にフォーカス
⇒2024年に登録実現!

【①太古の遺産】小木半島
👑佐渡ジオパーク
日本ジオパークネットワーク(JGN)
⇒2023年に再認定
⇒世界ジオパークへ!

↓※これからの取組み
【④未来の遺産】大佐渡・加茂湖・海
👑ユネスコエコパーク佐渡(仮称)
⇒2025年に協議会つくるべし!
⇒森は海の恋人、陸・海洋生物と共生
新潟県自然エネルギーの島構想

【③現代の遺産】小佐渡・国仲
👑世界農業遺産⇒ジアス推進室を!
⇒2015年に小佐渡東部で
トキ60羽の定着目標達成!
⇒2021年に認定10周年
※佐渡全体で530羽超!

※あくまで、象徴的な
エリアとしての王冠

地域循環共生圏 (ローカルSDGs)
L2021年からモデル地域に選定!
× SDGs 未来都市 L2022年に選定!
× 脱炭素先行地域 L2022年に選定!

【佐渡ブランド】
産官学連携
により推進!

【出典】さどまる倶楽部ホームページ

▼佐渡市小学校・中学校再編統合計画の意見交換会



① 小学校

再編前		再編案			
学校名	R 3	前期 (R 4~R 8)	R 9	後期 (R 9~R 13)	
	生徒数 (学級数)		生徒数 (学級数)		
1 両津小学校	113 (6)	両津小・河崎小 (再編統合協議)	120 (6)		
2 河崎小学校	87 (6)		両津小 72 河崎小 48		
3 加茂小学校	174 (6)	学校間連携	181 (8)	学校間連携	
4 両津吉井小学校	65 (5)		加茂小 133 両津吉井小 48		加茂小・両津吉井小 (再編統合協議)
5 内海府小学校	3 (1)		3 (2)		
6 前浜小学校	12 (3)		13 (3)		
7 相川小学校	77 (6)	相川小・七浦小・金泉小 (再編統合協議)	108 (6)	学校間連携	
8 七浦小学校	36 (4)		相川小 63 七浦小 26 金泉小 19		
9 金泉小学校	41 (4)				
10 高千小学校	25 (3)		21 (3)		
11 河原田小学校	157 (6)	河原田小・八幡小 (再編統合協議)	215 (9)		
12 八幡小学校	58 (6)		河原田小 158 八幡小 57		
13 二宮小学校	162 (6)		166 (7)		
14 金井小学校	355 (13)		277 (11)		
15 新穂小学校	82 (6)	新穂小・行谷小 (再編統合協議)	101 (6)		
16 行谷小学校	66 (5)		新穂小 68 行谷小 33		
17 真野小学校	203 (7)		144 (6)		
18 畑野小学校	168 (6)		128 (7)		
19 松ヶ崎小学校	4 (2)		13 (3)	学校間連携	
20 羽茂小学校	126 (6)	学校間連携	103 (6)	学校間連携	
21 赤泊小学校	56 (5)		羽茂小・赤泊小 (再編統合協議)		48 (5)
22 小木小学校	99 (6)		62 (6)		

② 中学校

再編前		再編案			
学校名	R 3	前期 (R 4~R 8)	R 9	後期 (R 9~R 13)	R 14
	生徒数 (学級数)		生徒数 (学級数)		生徒数 (学級数)
1 両津中学校	133 (5)	学校間連携	101 (3)	学校間連携	68 (3)
2 内海府中学校	4 (1)		1 (1)		1 (1)
3 前浜中学校	6 (2)		5 (1)		6 (2)
4 相川中学校	91 (4)	学校間連携	68 (3)	学校間連携	54 (3)
5 高千中学校	18 (3)		9 (2)		10 (2)
6 佐和田中学校	215 (7)		168 (6)		189 (6)
7 金井中学校	155 (6)		183 (6)	金井中・新穂中 (再編統合協議)	162 (6)
8 新穂中学校	79 (3)		67 (3)		金井中 119 新穂中 43
9 真野中学校	113 (3)		96 (3)	真野中・畑野中 (再編統合協議)	124 (5)
10 畑野中学校	88 (3)		86 (3)		真野中 63 畑野中 61
11 松ヶ崎中学校	13 (2)		1 (1)		8 (2)
12 南佐渡中学校	113 (3)	南佐渡中・赤泊中 (再編統合協議)	138 (5)	学校間連携	97 (3)
13 赤泊中学校	35 (3)		南佐渡中 110 赤泊中 28		南佐渡中 75 赤泊中 22

【出典】佐渡市小学校・中学校再編統合計画パブリックコメント
<https://www.city.sado.niigata.jp/site/publiccomment/41025.html>

◆意見交換会後の佐渡市小学校・中学校再編統合計画

2022年、全31か所での市民との意見交換会は、延べ270名の参加があり、平均8.7人であった。最小0人～最大47人の参加という状況であった。

政府は2023年4月1日「こども家庭庁」を設立。佐渡でも「こどもまんなか社会」という理念が最重要であると考える。





【出典】文部科学省「廃校活用事例集」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1296809_00003.htm

～未来につなごう～
みんなの廃校プロジェクト

参加無料 廃校活用推進イベント (東京会場/同時オンライン配信)

- 日時 令和6年10月2日(水)13時15分～16時30分
- 場所 文部科学省東館3階講堂及びオンライン配信を実施
- スケジュール (予定)

13:15	開会
13:20～15:30	行政説明、事例発表①②③
15:30～16:30	マッチングタイム(現地会場)/PR動画配信(オンライン)
16:30	閉会
- 一般参加受付 令和6年9月11日(水) 17時[※]

※現地会場においては、定員200名程度を予定 (先着順)

開催案内及び参加登録フォームは文部科学省ホームページに掲載しています。廃校活用に少しでもご関心がある方ならどなたでも参加できます。ぜひお気軽にご参加下さい。

みんなの廃校

過去に実施したイベントの概要や資料も公開しています

事例発表

全国での廃校活用事例について、自治体や企業から講演を行っていただきます。廃校活用に至った経緯や工夫等について、お話が聞けるチャンスです。

<発表予定>

- ①茨城県城里町 × (株)フットボールクラブ 水戸ホーリーホック <クラブハウス・練習場として活用>
- ②山梨県身延町 × サイトテック(株) <ドローン開発・研究等施設として活用>
- ③宮城県白石市 <学びの多様化学校として活用>

マッチングタイム/PR動画配信

現地会場においては、廃校を「使ってほしい」自治体がブースを出展し、参加者同士で自由に情報交換をする、マッチングの時間を設けます。またオンラインによる参加者に対しては、ブース出展している自治体の施設の概要やアピールポイント等についての動画配信をします。

<ブース出展予定自治体>

- ①北海道
- ②福島県福島市
- ③福島県川俣町
- ④茨城県がすみがうら市
- ⑤千葉県
- ⑥新潟県
- ⑦静岡県静岡市
- ⑧三重県津市
- ⑨京都府京都市
- ⑩兵庫県南あわじ市
- ⑪鹿児島県鹿児島市

※内容は変更となる可能性があります。

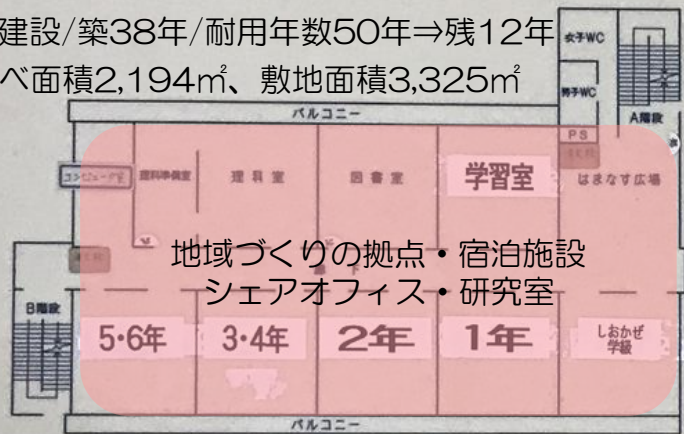
<お問合せ先>
 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
 施設助成課振興地域係
 TEL:03-5253-4111 (内線2001)
 E-mail: minpro@mext.go.jp

【出典】文部科学省「廃校活用推進イベント」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1422877_00008.htm

▼廃校舎等遊休公共施設の利活用@旧両尾小学校

◆旧両尾小学校：両津港から7.7km、車で約13分の好立地

- ・昭和61年建設/築38年/耐用年数50年⇒残12年
- ・RC造：延べ面積2,194㎡、敷地面積3,325㎡



2階

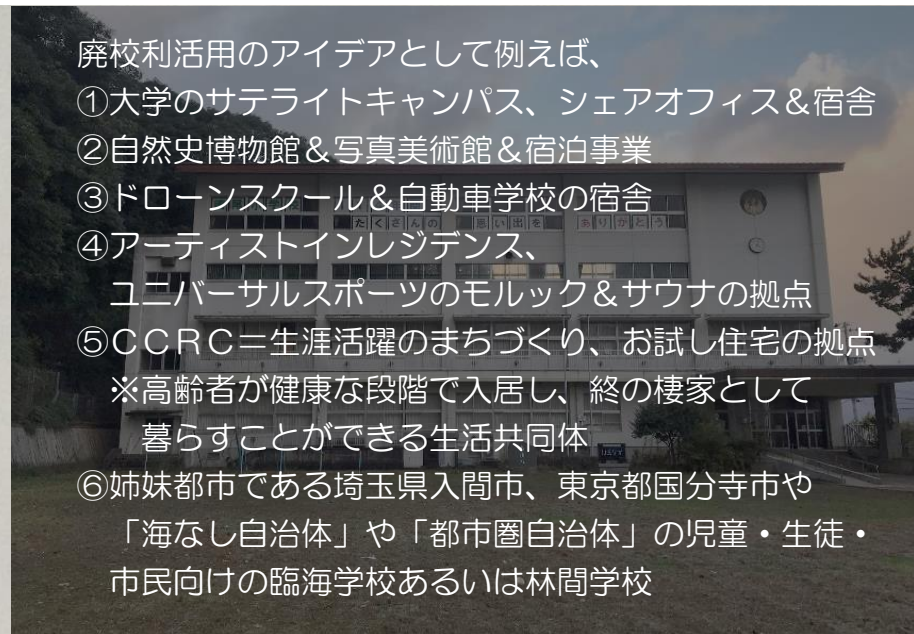
CCRCとは「Continuing Care Retirement Community」の略称で、高齢者が健康な段階で入居し、終身で暮らすことができる生活共同体のこと。



1階

廃校利活用のアイデアとして例えば、

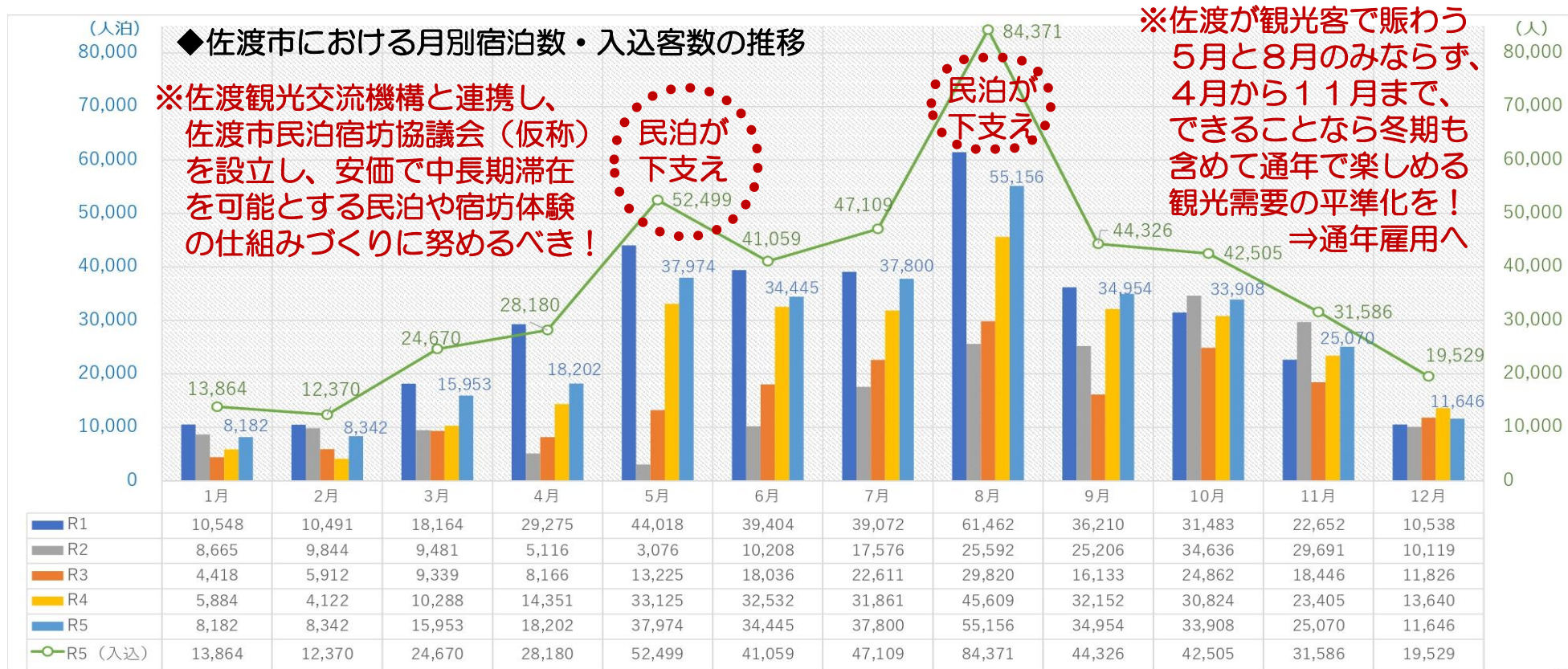
- ①大学のサテライトキャンパス、シェアオフィス&宿舎
- ②自然史博物館&写真美術館&宿泊事業
- ③ドローンスクール&自動車学校の宿舎
- ④アーティストインレジデンス、ユニバーサルスポーツのモルック&サウナの拠点
- ⑤CCRC=生涯活躍のまちづくり、お試し住宅の拠点
※高齢者が健康な段階で入居し、終の棲家として暮らすことができる生活共同体
- ⑥姉妹都市である埼玉県入間市、東京都国分寺市や「海なし自治体」や「都市圏自治体」の児童・生徒・市民向けの臨海学校あるいは林間学校



3階

建物、土地、太鼓の民間への譲渡・貸付は可能か？

▼旅館業法の宿泊+民泊新法の民泊の推進を



【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 佐渡観光データ調査分析業務報告書 佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数（泊）

分類	件数	客室数	収容人員	一日最大受入可能数
ホテル・旅館	105	1,415	5,202	客室数1,623室×2.5人 ※（一部屋当たりの平均利用人数（全国平均））
簡易宿所	40	208	731	
計	145	1,623	5,933	4,058

【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 営業等実態調査により導出 宿泊施設受け入れ可能数 現在の想定数：約4,000人/日

◆拉致被害者救出の署名活動ご協力をお願いします！

拉致被害者救出の署名活動にご協力をお願いします

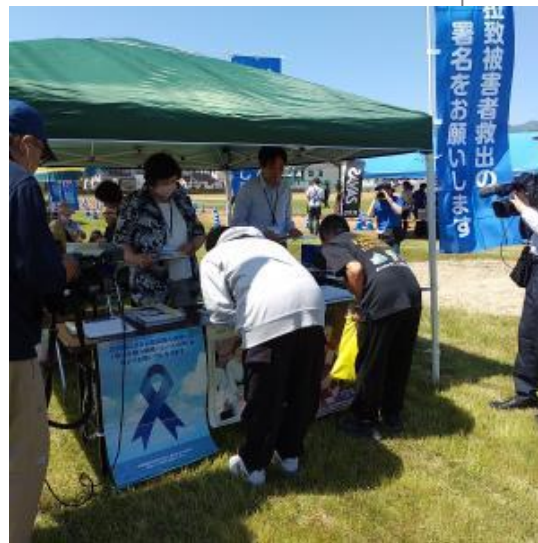
記事ID：0062361 更新日：2024年7月3日更新 [印刷ページ表示](#)

曾我ひとみさんの支援団体である「曾我さん母娘（おやこ）を救う会」とともに、佐渡市内のイベント等に併せて署名活動を行っています。

令和6年度の署名活動の予定は以下のとおりです。拉致被害者救出のため、署名活動のご協力をお願いします。

【令和6年度予定】

実施日	イベント名
4月20日 (土)	真野桜まつり
5月18日 (土)	佐渡ロングライド210
8月16日 (金) ～18日 (日)	アースセレブレーション
10月6日 (日)	鬼太鼓inにいぼ 朱鷺夕映え市
12月14日 (土)	北朝鮮人権問題啓発週間 センtralタウン広場（パネル展 同時開催）



【出典】拉致被害者救出の署名活動にご協力をお願いします
<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2002/62361.html>

【出典】佐渡市拉致問題理解学習教材（小学校高学年用）